

一次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

子供のころから目が良かったので、眼鏡やコンタクトレンズの世話にならずに四十代後半まで過ごしました。

ところが、年齢というものは正直で、ある時からどんどん視力が衰え始め、四十八歳でとうとう老眼鏡が必要な身の上になってしまいました。

A 「古い」というものが、自分にも忍び寄っていたことに気づいて愕然としましたが、根が楽天的な性分ですから立ち直りは早く「じゃあ、これからは眼鏡人生をたのしむことにしよう!」と、気持ちをクルリと切り替えました。

B 「若いころから好きだった画家、小説家、音楽家、そして、ほかでもない建築家のこと」が、丸眼鏡のよく似合う人たちだったので、丸い眼鏡に対するあこがれがあり、いずれ老眼になったあかつきには「ほら、楽天的でしょう?」丸眼鏡にしようと、ひそかに心を決めていたのです。

C 「十五年前、生まれて初めて眼鏡をあつらえることになったのですが、「渡りに舟」とでもいうのでしょうか、かねてから「こんな眼鏡があつたらいいな」と考えていた理想の眼鏡フレームが見つかりました。

この眼鏡は、チタン製の細い針金をU字型に曲げ、プラスチック・レンズに直接はめこんで固定するだけのおそろしくシンプルな造り。あつさりいうと針金細工的な代物ですが、よく見ると、ヒンジ部分は針金をらせん状にねじって小ネジを不要にしてあるなど、そのアイデアが合理的、建築的で、私の心は大いにくすぐられたのです。

D うれしかったのは、そもそもレンズの縁がないので、レンズの形や大きさが自由にできること。このとき私は、レンズの直径を測れば X が分かるように、直径四十八ミリの丸眼鏡を作ってもらいました。

E 「残念なことがひとつ。レンズの直径の最大サイズが六十ミリなので、もう、自分の年齢と同じサイズの眼鏡はできません。」

(中村好文「直径四十八ミリの丸眼鏡」による)

*注 ヒンジ部分——つなぎ目。

問一 A E に入れるのに最も適当なものを、それぞれ次のア～オから選び、記号で答えなさい。ただし、同じ記号を二度使つてはいけません。

ア ただ イ じつを言うと ウ このときは エ さらに オ というわけで

問二 線部1「楽天的でしょう?」とありますが、筆者が「楽天的」だと言えるのはなぜですか。次の説明文の に入れるのに適当な言葉を答えなさい。

「老眼になったあかつき」という ような言い方をしているから。

問三 線部2「渡りに舟」とありますが、「〇〇に△△」の形の言葉はいろいろあります。次のA～Eの意味を表す適当な言葉を答えなさい。ひらがな書きでもかまいません。

A 援助や努力がわずかで効果があがらないことの例え。

B うわの空で人の忠告に従う気がないことの例え。

C 元気を失ってしおれていることの例え。

D 困っているうえに、さらに困ったことが加わることの例え。

E 手ごたえや効き目のないことの例え。

問四 線部3「フレーム」は漢字で「縁」と表すことができます。次のA～Eの外來語を漢字で表すとどうなりますか。 に適当な一字を補って熟語を作りなさい。

A アラーム 報

B クレーム 情

C スチーム 気

D ブーム 行

E ユニホーム 服

問五 X に入れるのに適当な言葉を考えて答えなさい。

